

2-1 飛鳥の朝廷

<東アジアの動向とヤマト政権の発展>

史料 ① _____)

大業三年(②) 年)、其の王多利思比孤、使を遣して朝貢す。使者曰く、「聞くならく、海西の菩薩天子、朝拝せしめ、兼ねて沙門數十人、来りて仏法を学ぶ」と。其の国書に曰く「日出る処の天子、書を日没する天子に致す。恙無きや、云云」と。帝、之を覽て悦ばず、鴻臚卿に謂ひて曰く、「蛮夷の書、無礼なる有らば、復た以て聞する勿れ」と。

Q1：史料中の帝は誰か？

A1： _____

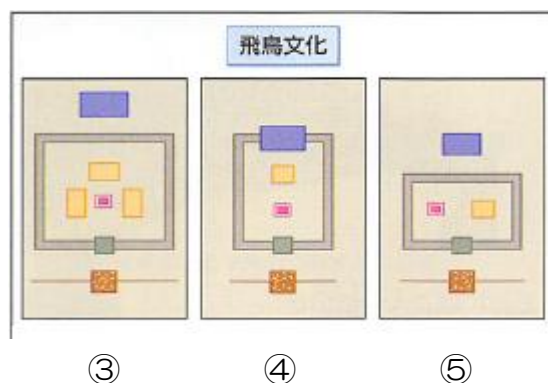
Q2：史料中の傍線部はどのような感情か？また、なぜ帝はそのような感情になっているのか？

A2： _____

<飛鳥の朝廷と文化>

○建築

・伽藍配置



寺院名	③	④	⑤
創建者			

☆法隆寺は若草伽藍跡の発見で元々は④式であったと判明！

厨子とは、経典や仏像を収納するもの。法隆寺金堂などと同じ建築技法が使われている。ちなみに、宮殿部分の金具の下に玉虫の羽が貼られていることから⑥と名付けられている。(その数 2563 枚！)



← ⑥

)

○仏像

・北魏様式



⑦



⑧

⑦ ()

⑧ ()

・百済・中国南朝様式

⑨ () →

☆この微笑は(⑩)
と呼ばれている。全てを救ってくれそうな
感じがしますね。京都の広隆寺にも広隆寺
半跏思惟像がある。僕は広隆寺より中宮寺
派です。



⑨

載せきれないよ！あとは資料集をチェック！